

第1回 畜産シンポジウム
～北海道酪農の課題解決に向けたミルク&チーズコンソーシアム形成～
開催概要

帯広畜産大学では、昨今の酪農情勢を踏まえ、特徴ある乳製品の研究開発と製造、総合的な地域連携、乳文化の形成、人材育成に資するため、ミルク&チーズコンソーシアムの設立を目指します。そのためのキックオフイベントとして、酪農の現状と課題を整理し、酪農経営と乳製品の需要創出、世界の乳文化に関する研究紹介を行うとともに、牛乳・チーズ製造関係者の話題提供・意見交換を行う畜産シンポジウムを開催します。

【日時】 令和5年7月25日(火)(開場14:30)

第1部 シンポジウム 15:00～17:30

第2部 情報交換会(畜大じんぎすかん会議) 17:40～19:00

【会場】 帯広畜産大学講堂およびオンライン

【参加費】 第1部:無料 第2部:3,500円

【対象者】 農業・酪農関係団体、乳業関係団体、生産者、行政機関、民間企業、試験研究機関、学生など、どなたでも参加できます。

【申込方法】

下記の「お申し込みフォーム」よりお申し込みいただくか、参加申込書に必要事項を記入の上、畜産シンポジウム運営事務局までメールまたはFAXにてお申し込みください。

※申込締め切り:7月20日(木)まで

<お申し込みフォーム> <https://forms.gle/ufRBPWo7kxvfQL3B7>

【主催】 北海道国立大学機構 帯広畜産大学

【後援】 十勝農業協同組合連合会、十勝品質の会、十勝毎日新聞社、(株)明治、森永乳業(株)、雪印メグミルク(株)、よつ葉乳業(株)

○その他

(現地会場参加における注意事項)

- ・体調不良(発熱や咳、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等)の場合には参加をお控えください。
- ・来場者のスナップ写真を撮影し、大学HP等で公表する場合がございますのでご了承下さい。

(情報交換会)

- ・畜大じんぎすかん会議 《会場:畜大生協前広場(雨天時は「かしわプラザ」内)》

(お問い合わせ)

帯広畜産大学産学連携センター(担当:高橋・輿水)

電話:0155-49-5771/FAX:0155-49-5775/E-mail: crcenter@obihiro.ac.jp

【シンポジウムプログラム】

1. 開会あいさつ 15:00～15:05
帯広畜産大学 副学長 古林与志安
2. 基調講演
「日本の酪農産業（生産・流通・消費）における課題と求められていること」 15:05～15:40
十勝農業協同組合連合会畜産部酪農畜産課 主任技師 原 仁
（元・北海道立総合研究機構酪農試験場長）
3. 研究紹介 15:40～16:20
(1)「酪農経営からみる需要拡大の重要性」帯広畜産大学環境農学研究部門准教授 三宅 俊輔
(2)「乳製品の歴史と乳文化形成」 帯広畜産大学人間科学研究部門 教授 平田 昌弘
- ～（休憩）～
4. パネルディスカッション 16:25～17:15
「産業界からの話題提供」 座長: 帯広畜産大学人間科学研究部門 教授 平田 昌弘
・ ミルクバリエーション (有) 藤井牧場 代表取締役 藤井雄一郎
・ 地域のチーズ工房の取組み紹介 (株) 白糠酪恵舎 代表 井ノ口和良
・ 乳業メーカーの取組み紹介 よつ葉乳業(株) 研究統括部中央研究所 所長 内田 健治
・ 十勝ラクレットの地理的表示 (GI) 登録と今後の展望 十勝品質の会 会長 宮嶋 望
5. コンソーシアムの設置に向けて 17:15～17:25
「北海道酪農の将来に向けて畜大が取り組んでいきたいこと」
帯広畜産大学環境農学研究部門准教授 河野 洋一
（産学連携センター産学連携推進室長）
6. 閉会あいさつ 17:25～17:30
帯広畜産大学 学長 長澤 秀行

以 上